

管内の事業者の皆様へ

トラック等乗降時は、『3点支持』の徹底を！！

菊池労働基準監督署管内において、トラックやダンプの運転席や助手席での乗降の際に、はしごやステップで足を滑らせてしまい、地面に墜落してしまう労働災害が発生しています。

運転するトラック、ダンプの種類等により様々ですが、おおよそ1m～1.5m程度の高さからの墜落しており、ヘルメットを着用していない事例も多く、**頭部へのダメージが大きい場合、重篤な災害となりかねません。**

このような墜落災害を未然に防ぐための取組みとして、『3点支持』が有効であると考えておりますので、このリーフレットを参考に、その徹底をよろしくお願いします。

<災害のイメージ>

そもそもトラックやダンプの「乗降の際の墜落災害」とは、次のようなものです。

災害出所：労働者死傷病報告（他署分含む）



はしごやステップとは、この部分の設備を指します

事例

運転席方向を向いて降車していたが、ステップ3段目で足を滑らせてしまい、お尻から墜落した。
（骨盤部の骨折、休業見込3か月）

事例

洗車場で、運転席から降車する際、ステップ2段目に左足を置き、1段目に右足を置こうとしたときに足を滑らせてしまい、後ろ向きに約1m墜落した。
（頭部打撲、休業見込2週間）

事例

降車時に、ステップ上で足を滑らせてしまい、墜落した（目撃者なし）。
（頭部打撲、死亡）

運転席の例（写真出所：国土交通省）

<墜落する原因>

様々な原因によって災害が発生しています。管内の災害かを分析すると次のような原因が考えられます。

はしごやステップ（以下「はしご等」）が濡れていたため足が滑った
片手（又は両手）に荷物を持って乗降し、はしご等を踏み外した
降りる際、運転席側を向けず、正面を向いて降車したところ、はしご等を踏み外した

積載時と空荷の時に車高が変わり、地面に足が届かなかった

トラック、ダンプ等乗降時の「3点支持」を徹底してください！！



3点支持とは、通常、両手・両足の4点のうち3点により身体を支えることを指します。

左の写真で言えば、右手、左手で運転席のグリップを掴み、右足をステップに乗せています。常に4点のうち、3点で身体を支えているかを意識しながら、乗降することが重要です。

ポイントは、次の3つです。

- 何も手に持たないこと
- 運転席（又は助手席）側を向いて昇降すること
- 必ず片足がステップや地面についてから、次の動作に入ること

3点支持の例（写真出所：国土交通省）

K Y活動による「3点支持」の定着を！

3点支持の定着のため、日ごろの対面点呼を活用した「K Y（危険予知）」による定着を図ってください。

K Yとは、日々の作業手順の中に隠れている「不安全な状態や行動」（危険）を事前に明らか（予知）にし、作業者自身が対策を考えて実行することを目的として行う自主的な安全活動のことをいいます。



K Y活動は、テキストやパソコンは必要なく、口頭のみで可能です。結果を記録する必要もありません。次の流れでやってみましょう！

～K Y活動の流れ（4R法）～

どんな危険が潜んでいるか
(危険を予測し、話し合う)

危険ポイント
(発見した危険のうち重要なものを全員で確認)

あなたならどうする？
(災害防止策を考える)

私たちはこうする
(対策方針の決定・共有)

労働者と点呼者の2名で行うことも可能です。
・危険のポイント
・その対策
を自主的に検討することが重要です。